

あなたの声を 町政に

一般質問は、10人の議員が17項目にわたり諸問題を質しました。



澤田正己議員

問 国内外の景気が大きく失速し、大企業の規模縮小や非正規労働者の雇用解除問題が、連日報道されている。景気不安の波は既に地方にも押し寄せて来ているが、大山町の景気対策をどのように考えるのか、町長に質す。

(1)雇用の促進をどのように進めていくのか。

(2)大山町の人口は12月現在で1万8789人と年々減少の傾向にある。若者の地方離れや、人口増加策にどう取り組むのか。

(3)米・ねぎ・梨など町の特産品である農産物の価格低迷が続いている。その対策は。

(4)国の第1次補正予算の効果は。

答 (山口隆之町長)

(1)町内企業のリストラの情報は、売上減少や生産削減など余儀なく

景気対策について

地域雇用促進事業で雇用拡大を

されている企業もある。国の地域雇用促進事業の同意を得て、今後3年間で雇用の拡大を図る。

(2)特効薬は見当たらないが、大山恵みの里構想、高度情報通信整備、特色ある教育環境づくり、若者定住対策等、魅力ある大山町のまちづくりを内外にPRしていきたい。

(3)大山恵みの里公社を核に、大山ブランドの確立と定着を推進し、消費者にその価値を広く認識していただく取り組みや、販路の開拓、一次加工により付加価値を高める等、有利販売に結びつく取り組みを進めていきたい。

(4)効果は、地域防災対策の推進や中小企業への貸付要件緩和等である。



ホープタウンへ直送、大山町産品